



愛知県木曾川町 K邸



松浦産業株式会社

福海 賢治氏 愛知県春日井市

設計のポイント——エクステリアのリビング

暮らしと住まいのシンボル空間となる

お施主様の希望である「デッキで過ごす暮らし」の実現をテーマにプランニングしています。

このお住まいでは、ウッドデッキの設計に二つの大きな特長を持たせています。一つは、ウッドデッキに隣接する部屋に履き物のままで入れるというユニークな構成になっていることです。実はモデルハウスでは日本間として設計されていた部屋を、デッキのある欧米のライフスタイルに近付けるために、お施主様が発案されました。デッキと室内の二つの空間を有機的につなぐことが最大のポイントとなりました。具体的にはデッキの高さと室内の床、玄関ポーチの高さを同じにし、段差が生じないように仕上げました。もう一つの特長は、ウッドデッキの設置場所です。自然にふれ、健康的で活動的な場所を求めていくと、住宅の正面が最適ということになりました。通常、表通りから見えるところにはあまり設置しないものですが、希望のライフスタイルを考慮すると譲れません。そこで玄関先に据える以上はみすばらしい場になってはいけないと考え、ウッドデッキのスペースをできるだけ大きくすることを提案しました。玄関先だから目立たなく…という発想ではなく、思い切って大きなスペースをとり「ここは戸外のリビングなんだ」と、用途、性格をハッキリと打ち出しました。そうすることで、玄関先にあることに違和感はなくなり、逆にこの住宅のシンボリックな空間になったと満足しています。



ウッドデッキ、室内、玄関の床レベルを同一にすることで、つながりのある空間をつくりだし、新しいライフスタイルの提案としています。また、奥様が選ばれたデッキの色が住まい全体を明るくしています。